



世界での活動



3月25日 Leusden
Netherlands

～1000人の女性が世界平和のために歌う～
オランダ・ルースデン市にて。
1000人の女性たちが、「希望の火」とともに平和を願い、心をひとつにして歌いました。
その歌声は祈りとなり、やさしくも力強く、世界へ響き渡りました。



5月5日 Alkmaal
Netherlands

～「自由の火」が合祀される～
オランダ・アルクマール市。
解放フェスティバルで灯された「自由の火」が、「希望の火」として新たに輝きました。
戦争終結の記憶とともに、未来への祈りを込めて。



6月17日 Madison
U.S.A WI

ウィスコンシン州マディソン。
毎年恒例の夏至のお祝いの夜、「希望の火」が灯されました。
486人の願いとともに、焚き火は静かに燃え続けました。



7月29日 Madison
U.S.A WI

アメリカ・ウィスコンシン州マディソン市で開催されたアトウッドフェスのパレードに、「希望の火」とともに参加しました。
喜びと感動に満ちたひとときを過ごし、未来への輝かしい一歩を感じる素晴らしい時間となりました。



8月5日 Glafon
U.S.A NY

ニューヨーク州グラフトンで行われた平和ウォーク。
グラフトン公園から日本山平和塔まで、「希望の火」が導くその道を、心をひとつにして歩きました。
異教徒間のチャントパフォーマンスが響き渡る中、参加者一人ひとりの思いが繋がり、心温まる瞬間が広がりました。平和への願いが力強く、静かに広がった素晴らしいひとときでした。



8月6日 Pittsfield
U.S.A MA

アメリカ・マサチューセッツ州ピッツフィールドにて。
「希望の火」が「広島の日」の黙禱に参加しました。30年もの間、毎年続けられてきたその祈りに、今年新たに灯りが加わり、平和への願いがひとつになりました。



8月6日 Kingston
U.S.A NY

ニューヨーク州キングストンで開催された盆踊り平和フェスティバルにて、「希望の火」プレゼンテーションと平和祈願ランタンセレモニーが行われました。
祈りと希望が一つになり、世界に平和の灯りが広がりました。



8月15日 Alkmaal
Netherlands

オランダ・アルクマール市にて。
「昨日の敵は今日の友」～第二次大戦アジアでの終戦を、日蘭インドネシアの人々が集まって「HOPEワークショップ」と声明で追悼。
痛みを人類共通のものとして認識し引き受けたときに感じる融合体験が、国籍や過去を超えて共に良き未来を創っていくために必要だというメッセージは深く参加者の心に刻み込まれました。



9月17日 Madison
U.S.A WI

ウィスコンシン州マディソン市のウィリー ストリートフェアパレードで、人々が「希望の火」に出会いました。
その火に触れることで、心に秘めた願いを込め、未来への希望を新たに感じた瞬間でした。
参加者たちは、その輝きに包まれながら、共に未来を照らす力強い思いを共有しました。



9月17~24日 Alkmaal
Netherlands

オランダ・アルクマール市にて、毎年恒例の平和週間が開催されました。
オープニングセレモニーでは、二人の子供さんが「希望の火」に平和の祈りを込め、「全ての人々が素晴らしい人生を送れますように」と、願いを込めてその炎を灯しました。



10月7日 Khan Younis
Palestine Gaza

パレスチナ・ガザ地区ハンユニスにて。
イスラエルの爆撃が激しく降り注ぐ中、「希望の火」メンバーが命をかけて人道支援を続けました。世界中から寄せられた支援金がガザに届き、井戸のポンプが稼働し続け、約4万人に飲料水が確保されました。
さらに、毛布や食料が届けられ、命を守るための支援が行われました。絶望の中でも光を求め希望が一筋の道となって広がっていきました。



10月25日 Amsterdam
Netherlands

オランダ・アムステルダムにて。
10月7日のハマス・イスラエル間の戦闘開始から約3週間後、アムステルダムで1万人を超える人々が集まり、平和を訴えるピースウォークが行われました。
「希望の火」もその一員として、争いのない未来を願い行進しました。

